イスラエル建国と現在

イスラエルの概要

正式名称:イスラエル国

面積: 22,021km²(対日本比5.8%)

人口:942万人(対日本比7.5%)



1章1節

ユダヤ人差別とシオニズム

ユダヤ人とは

古代:ヘブライ語を母語とする民族

現代:ユダヤ教を信奉する民族

ユダヤ教の起源 モーセの十戒 旧約聖書「出エジプト記」 唯一神ヤハウェを信仰 ヘブライ王国で発展

離散とユダヤ人差別

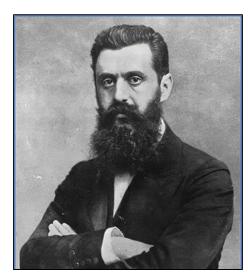
紀元前6世紀:バビロン捕囚 離散 1世紀:キリスト教の普及 ユダヤ人差別拡大 11~13世紀:カトリック全盛 ユダヤ人は異端者

19世紀:ポグロム (ロシア帝国)

16世紀:ゲット一政策(イタリア)

シオニズムの誕生

1894年 ドレフュス事件(フランス)



テオドール・ヘルツル 離散状態の否定から「ユダヤ人国家」建設を提唱

シオニズム

1897年:世界シオニスト機構設立

1章2節

第1次世界大戦とユダヤ人

第1次世界大戦期のシオニスト

世界シオニスト機構:連合国と協力

1917年 バルフォア宣言 (イギリス)ユダヤ人の民族的故郷建設を支持1922年 チャーチル白書 (イギリス)パレスチナ委任統治の基本的枠組みを提示

1章3節

ホロコースト

ホロコーストの反ユダヤ政策

- 1933年 ヒトラー政権 誕生
- 1935年 ニュルンベルク人種法
- 1938年 水晶の夜
- 1941年 コミッサール命令
- 1942年 アウシュヴィッツ・ヘウムノ収容所ガス殺開始

ホロコースト犠牲者とシオニスト

シオニスト:「離散の否定」の正しさを再確認

シオニストの見方 ホロコースト犠牲者は運命に受け身 シオニストは運命に打ち勝った

2章1節

第2次世界大戦後のパレスチナ

ホロコースト後のシオニズム

マクドナルド白書(1939) ユダヤ人移民制限継続

反英感情 增大

1947年2月

イギリスパレスチナ統治の将来を国連に一任

1947年11月 国連パレスチナ分割決議

2章2節

建国と闘争

独立宣言と第1次、第2次中東戦争 1948年5月14日 イスラエル 独立宣言 5月15日 アラブ諸国軍 パレスチナ進軍 第1次中東戦争

1949年5月 イスラエル 国連加盟
 7月 休戦 軍事境界線(グリーンライン)制定
 1956年7月エジプト スエズ運河 国有化宣言 英仏反発
 10月 英仏と共同軍事行動 第2次中東戦争

2章3節

第3次中東戦争からオスロ合意まで

第3次中東戦争から第1次インティファーダ

1967年 エジプト ティラン海峡封鎖 第3次中東戦争

1973年 エジプト・シリア イスラエル奇襲 第4次中東戦争1979年 イスラエル・エジプト 平和条約締結

1987年 第1次インティファーダ



オスロ合意・パレスチナ自治の開始

1993年9月13日 オスロ合意 締結

- ・ヨルダン川西岸、ガザ5年間の暫定自治政府設置
- ・自治開始後2年以内にエルサレム等の最終的な地位交渉の実施

3章1節

国内政治

イスラエルの政治体系

立法府「クネセト」

一院制 比例代表制 120議席

イスラエル選挙の特徴

- ・政党の分裂、吸収合併
- ・ 少数会派の乱立

3章2節

経済

産業

農業

建国以来の基幹産業 点滴灌漑で水量を効率化

ハイテク分野 アメリカからの経済援助(1949~2007)で成長 3章3節

外交

外交関係 158カ国(2018年4月現在) →中東情勢が国交に影響

西欧イスラエルの入植活動に反発 BDS運動:パレスチナのユダヤ人入植地産製品へのボイコット

2015年 EU

入植地産品に「イスラエル入植地産」表示 義務づけ

4章1節:イスラエル社会とパレスチナ問題

パレスチナ人の出稼ぎ制限

パレスチナ自治区との境界 隔離壁建設

心理的、物理的に関係隔絶

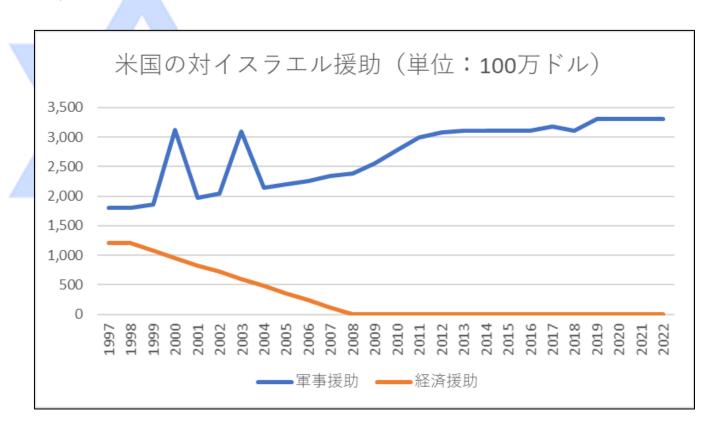
4章2節

イスラエルとアメリカ

アメリカのイスラエル援助

経済援助(1949~2007)

軍事援助(1949~)



アメリカとの関係の変化冷戦

アメリカ・イスラエル対ソ連・アラブ諸国

米中対立 激化米国の主要敵 イラン → 中国

大国間競争へ →中東の重要度が相対的に低下

4章3節

イスラエルと日本

1952年 国交開始 日本貿易振興機構(JETRO) 事務所開設 1997年 第2次インティファーダ 2000年 関係 停滞 レバノン侵攻 2006年 ネタニヤフ首相(当時) 訪日 2014年 「対日経済関係強化のための3カ年計画」 2015年 「日本・イスラエル・イノベーション 2017年 ・ネットワーク(JIIN) |設置 「防衛装備・技術に関する秘密情報保護 の覚書|

政治・経済・安全保障で関係強化へ

終章

今後の展望

パレスチナ問題の解決案

- ・2国家解決案パレスチナ国民国家独立民族自決に基づく(問題点)イスラエルが却下
- ・1国家解決案
 属人主義的連邦国家の建設
 「心」に基づく自治、多層的な政治、法制度
 (問題点)適用困難

終章:解決に向けて

パレスチナ入植地拡大 1国家解決の既成事実化

パレスチナ人問題 独立運動→市民権運動

2国家解決案で早急な解決が必要

